

## 1:出席者

加藤<sup>a</sup>・大西<sup>b</sup>・岡部・千葉・能登・平林・伊藤<sup>c</sup>・鈴木<sup>c</sup>・内藤<sup>c</sup>・大塚<sup>c,d</sup>  
(<sup>a</sup>:委員長, <sup>b</sup>:議長, <sup>c</sup>:オブザーバー, <sup>d</sup>:書記)

## 2:報告

- EXFOR の 2002 年 Technical meeting が 5 月 27 日から 30 日までパリで行われる。議題があれば提案されたい。(加藤・千葉)
- 吉田さんの家庭の事情により、吉田さんの勤務を週前半に集中させる。(加藤)
- H 型辞書の整備を月曜の WG で開始した(能登)
- 履歴情報の入力書式についての議論を月曜の WG で継続中である。(能登)
- VBL 来年度予算申請の時期になっている。ポストは 2 名申請の予定。派遣・招聘の希望を受け付けている。(大西)
- D1535 の縦軸の一部に関して著者より図の誤りの報告を受け、これに沿ってコーディングされたファイルの一部を修正した。(平林)

## 3:議論

- D1755 コーディング結果検討  
反応式における残留核の記述は NRDF では物理的な残留核を、EXFOR は最も重い核(粒子)を残留核として取り扱う。
- 標的の物理的形状、バックング、偏極の入力について
  - ・ 標的の物理的形状：特記されていない時は自明であれば Solid、そうでなければ X
  - ・ バックングの有無：特記されていない時は X と記入
  - ・ 偏極の大きさ：特記されていない時は 0%と記入
- ワークステーション JCPRG の整備  
meme からのファイル移動などについて大林氏のいる時に相談する。

## 4:次回

2002年2月18日 17:30より